

2. 天津市

2022年の天津市の域内総生産（GRP）の実質成長率は1%となり、全国の実質GDP成長率（3%）を2ポイント下回った。天津市は、2022年新型コロナウイルス感染症の深刻な影響を受けたものの「穩中有進」（安定の中で前進する）・「穩中有固」（安定しながら強固にする）を方針として進み、製造業による地域振興で成果が現れたとした。2023年の経済成長率の所期目標は、4%程度としている。

2022年の経済状況

2022年の天津市の域内総生産（GRP）は前年比1%増の1兆6,311億3,400万元だった。GRPを産業別にみると、第一次産業は前年比2.9%増の273億1,500万元、第二次産業は0.5%減の6,038億9,300万元、第三次産業は1.7%増の9,999億2,600万元だった。消費者物価上昇率は1.9%（2021年は1.3%）、固定資産投資額（農家を除く）は前年比9.9%減（2021年は前年比4.8%増）、一定規模以上の工業生産は1.0%減（同8.2%増）、社会消費品小売総額は5.2%減（同5.2%増）だった。

全市住民1人当たり可処分所得は3.2%増の4万8,976元、都市部住民1人当たり可処分所得は2.9%増の5万3,003元となった。

貿易総額は、前年比21.1%増の2兆100億元、うち輸出は28%増の1兆600億元、輸入は14.2%増の9,500億3,000万元、貿易収支は1,099億7,000万元の赤字だった。天津市の貿易額は全国貿易額（42兆700億元）の4.8%を占めている。

天津市の特徴

天津市は中国4大直轄市の1つであるとともに、環渤海経済圏の中心に位置し、中国北方最大の沿海開放都市として、特殊な地理的位置にある。中央政府は、天津市の都市機能について、「一基地三区」、すなわち、全国の先進的製造・研究開発基地、北方の国際輸送の中核区、金融イノベーションモデル区、改革開放先行区と位置付けている。この位置付けは、中央政府が経済の新たな発展ニーズに対応すべく制定した地域発展計画である「京津冀（北京市、天津市、河北省）協同発展」戦略における、天津市の今後の取り組みの重点でもある。2021年6月には中国北部最大かつ国家級のコンベンションセンター（国家会展中心(天津)）が天津市にオープンした。これは北京の非首都機能の移転や京津冀協同発展の重要な役割を担い、また華北地方に大型展示会場がないという状況を一変させた。

天津市は、北京からの産業移転を受け入れ、サプライチェーンの連携を強化し、バイオ医薬、自動車産業など地域で特色のある産業を発展させている。また、科学技術イノベーションを中心とし産業のアップグレードをけん引して、製造業による地域振興戦略を継続し、経済競争力を高めている。第14次5カ年規画に消費を全面的に推進し、国際

消費中心都市を作り上げる目標が示され、天津市は5つ（上海市、北京市、広州市、天津市、重慶市）の国際消費中心都市建設の1つとなった。中国（天津）越境EC総合試験区の建設を加速し、天津国家コンベンションセンターを利用して北方最大の商品貿易基地を構築するとしている。

天津市は、「一帯一路」建設に積極的に参入し、一帯一路沿線のRCEP加盟国からの投資誘致を強化する。このほか、中国エジプトTEDASUEZ経済貿易合作区、中欧先進製造産業園、天津イタリア中小企業産業園、日中（天津）健康産業発展合作示範区などの建設を推進している。

質の高い発展を目指して

すでに進出している企業が天津市で継続的に発展できる環境を整備することが、先進的な取り組みをする外国企業の誘致につながり、天津市が目標とする質の高い発展に寄与すると考える。天津市に進出する日系企業が、いっそうの発展を遂げ、天津市の経済発展に寄与するために挙げた建議を整理すると、以下の3点に集約される。

第一に、企業活動の円滑化支援である。新型コロナウイルスの感染拡大以降、天津に進出している日系企業においては業界問わず大きな苦難に直面している。天津市政府からも、地場企業ならではの消費刺激策などを検討いただきたい。また、環境面に関してはカーボンニュートラルに貢献できる水素ステーション導入や関連車両の導入や補助、工場内設備の変更に関する規制の緩和等について検討いただきたい。突発的な工場への操業停止を避け事前通知を行う等、予見可能性の向上についても引き続き希望する。

第二に、交通環境の整備である。天津市と北京市および日本との往来に関する交通環境のさらなる整備を希望する。具体的には天津ナンバープレートによる北京への乗り入れ規制の問題がある。また、天津濱海国際空港では、未完成の国際線ターミナルチェックインエリア改造工事の早期完了を期待する。これらを含め交通利便性の向上のさらなる拡充を要望する。

第三に、優れた生活環境の整備である。天津は、中国他地区と異なる観光資源や食、文化や歴史などを多く持っている。その魅力を日本にいる日本人にもっと知ってもらうために天津の魅力について日本語による広報物の作成をお願いしたい。またデジタル化の進展による各種デジタルサービスを楽しむにあたりパスポートによる身分認証が煩雑な場合が多く存在している。利便性をいっそう高めるために在留許可をカード化し、同じプラットフォームでの各種認証などが進められるように検討いただきたい。

引き続き対話継続を

2022年12月、新型コロナウイルス感染拡大の中、天津市商務局と関連部局が厳しい状況にもかかわらず、オンライン共催で第7回目の日系企業との意見交換会の開催に尽力いただき実現できたことにお礼を申し上げます。企業の要望の中には、理解不足によるものもあり、意見交換会で当局か

ら説明を受けて解決したものもあった。企業の円滑な事業展開にはさらなる相互理解が必要な部分もあり、年1回の意見交換会にとどまらず、今後も継続的に天津市の各関係当局と在天津日系企業との対話・交流の実施を希望する。

<地方政府との交流の状況>

天津市と日系企業との意見交換会

- ・ 2022年12月16日
- ・ 天津市側参加者：商務局をはじめとする関係部局が参加。
- ・ 日本側参加者：日系企業18社、天津日本人会会長・副会長、ジェトロ北京事務所が参加。
- ・ 交流内容：建議の各内容について、担当部局から実態および市政府としての考え方の説明があった。

<建議>

①企業活動の円滑化、環境対応

優遇、補助政策

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年以降、業界を問わず大きな苦難にある。在天津企業は、天津の一基地三区、京津冀、また北京からのサプライチェーンの移管という考え方に賛同し、投資を進め、日系企業においては一大生産拠点と言える状況に成長した。全国規模では、さまざまな消費刺激策により政府支援をいただいている中ではあるが、特に天津市政府からも、地元生産製造の消費材に限った補助金、または、政府関連調達では地元企業を優先的に調達するなど、地場企業ならではの消費刺激策などを検討いただきたい。
- ・ 現下、高齢社会を見据えた各種政策が検討される中、重要産業である自動車福祉車両は、装備の観点からも通常車両に対して割高な価格となっている。福祉車両の認定制度とともに、(新エネ車両などと同様に)認定車両については購入補助支援などの後押しを検討いただきたい。

環境、カーボンニュートラル

- ・ 近年、特に北京においては、水素ステーションを始め、水素関連技術の導入が足早に進んでいる。天津の一基地三区、京津冀、また北京からのサプライチェーンの移管という考え方に貢献すべく、北京同等、または北京以上の当該政策を期待、要望したい。特に、政府主導による水素ステーションの導入や、当該車両導入、購入に対する政府補助などにつき、検討をいただきたい。
- ・ 鉛バッテリーからリチウムイオン電池への入れ替えといったCO₂排出低減を行うことにより、カーボンニュートラル、コスト、環境面においてもメリットが大きいと考えている。他方で工場の規制により工場での設備導入が簡単にできない状況にあり、緩和されるよう検討いただきたい。

②交通環境の整備

北京との往来

- ・ 天津には、京津冀、また北京からのサプライチェーンの移管という考え方に賛同し、北京に本社や関連企業を設置しながら事業経営する企業も多い。そうした際、天津ナンバープレートでは北京への乗り入れができず、不便な事態が散見される。両地区への企業配置など、一定条件を満たした企業への限定配布でも、ダブルナンバープレートなど、「一体地域」としての利便性向上策を検討いただきたい。

日本との往来

- ・ 天津と日本を結ぶ直行便が再開し、増便されたことに対して感謝したい。今後は天津に住む多くの日本人が利用意向をもっている名古屋便についても検討を要望する。

天津空港を利用する旅客に、より良い体験を提供できるよう、現存の第一ターミナルの改造・改築の早期完了を要望する。また、直轄市に相応しい玄関口とするべく、出発ロビーにおける自動チェックイン機・自動バゲージドロップの設置、カウンター、ラウンジの改築・改善を要望する。

③優れた生活環境の整備

日本語による現地情報の発信

- ・ 港町であり、多くの外国文化を受け入れた天津は、中国他地区と異なる観光資源や食、文化や歴史などを多く持っている。その魅力を日本にいる日本人にもっと知ってもらうために、動画をはじめとする日本語の宣伝物の作成をお願いしたい。

パスポートによる認証の制限

- ・ 省を跨いだ場合や、一部生活アプリにおいてはパスポートによる身分認証が非常に煩雑な場合がまだまだ多く存在している。中国身分証と同様に、在留許可をカード化し、同じプラットフォームでの各種認証などが進められるように検討いただきたい。